

〈資料 2〉

平成30年度

第 2 回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

平成31年 3 月 8 日（金曜日） 18時00分～
宇治市役所 602 会議室

HOOP

平成30年度宇治ひろの学園
小中一貫教育 事務局 発行
Hiroo-Okubo-Ohtsuki new education Plan

平成30年度宇治ひろの学園 小中一貫教育の取組
をまとめました。児童・生徒の学力向上に向け、取組
を継続させたいと考えています。今後とも本学
園の教育推進にご協力・ご支援をお願いいたします。

宇治ひろの学園

オリジナルスタンプの活用

児童生徒の学習活動の良さに「気づき」、「認め」、肯定的な評価をたくさん与え、学習意欲を引き出す「オリジナルスタンプ」の取組を始めました。スタンプは、授業中の個別指導や、宿題、自主学習等に活用しています。



学園共通問題の作成・活用

学力調査や実態の分析から苦手分野を克服する為の共通問題を作成しました。共通問題は、授業の中で活用して学園全体の学力向上に取り組んでいます。

3校合同研修会

合同研修会では、教員同士が、ひざをつき合わせて話し合う時間を多く確保しています。学校の枠を越えたグループを組み、3校合同で行った学力分析内容の共有や、授業改善に向けた研修を行いました。



中学校の学習への不安低減の取組

中学校での生活や学習への意欲を高める為の取組として、広野中学校の2年生が、大久保小学校と大開小学校に来校し、6年生を対象に、具体的な中学校生活について話をしてくれました。中学校の教員からも学習についての話を聞きました。この話を受け、小学校でも計画的に学習に取り組むなど、中学校に向けての準備を進めています。



★学力充実の取組

- ・中学校の学習への不安低減の取組
- ・板書カード・授業システム
- ・家庭学習の手引き
- ・各種学力調査の結果分析と課題の共通理解
- ・小学校高学年での「教科担当制」の作成、実施
- ・宇治ひろの学園共通問題（算数）の作成、実施
- ・中学校教員による授業サポート（算数）
- ・宇治ひろの学園オリジナルスタンプの活用

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・宇治ひろの学園研究会の開催
（5月総会、8月夏季合同研修会）
- ・2小学校教員による小中交流の充実
- ・各校授業研究会への参加
- ・小学校教員による中学校の部活動見学
- ・中学校教員による小学校体験研修 他

HOT-MEETING 福島ひまわり里親プロジェクト

街頭募金活動（思いやり募金活動）

本年度も、広野中学校の生徒会、大開小学校、大久保小学校の児童会が中心となり、街頭募金活動などの福祉活動、東日本大震災で被災された福島県の人々を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」に取り組みました。

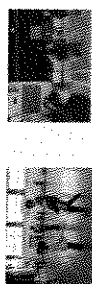


★児童生徒が交流する取組

- ・HOTMEETING（3校合同児童生徒会）
- ・HOTSTUDY（中学校 新入生半日入学）
- ・クラブアシスタントティチャー
（中学生の小学校クラブへの参加）
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

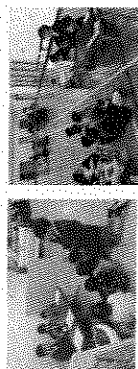
クラブアシスタントティチャー

小学校のクラブ活動の時間に広野中学校の生徒達が来校し、指導を行いました。高等な技術を披露したり、的確なアドバイスをしたりする中学生の姿に、小学生は憧れのまなざしを向けていました。



中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ

広野中学校1年生が大久保小学校と大開小学校に分かれて来校し、それぞれの小学校1年生に「紙芝居」の読み聞かせを行いました。中学生は、優しさをもって小学生に接し、小学生も頼もしいお兄さんお姉さんの読み聞かせに大喜びでした。



3校合同地域懇談会

6月29日（金）、広野中学校で広野中学校区合同地域懇談会が行われました。地域懇談会は、広野地域の青少年の健全な育成を願って、毎年、地域の少年補導委員と小中のPTA（育友会）が共催して行っています。

★保護者・地域と交流する取組

- ・HOOP（宇治ひろの学園小中一貫教育だより）配付
- ・3校合同の地域懇談会を実施
- ・子ども主眼大会（大久保学区青少年協主催）
- ・広野中学校吹奏楽部定期演奏会
オーケストラメモリーコンサート
in 大久保小学校 他

HOOP

平成30年度宇治ひろの学園
小中一貫教育事務局 11月発行
Hiroo-Okubo-Otsuraki
neweducation Pan

宇治ひろの学園に新たな取組を！

第2回HOT-MEETINGでグループワーク

10月23日に、大久保小学校、大開小学校、広野中学校の児童会・生徒会役員が大開小学校に集まり、第2回HOT-MEETINGを行いました。三校の児童会・生徒会では、本年度終了したエコキャップ回収に代わる新たな取組を模索しています。その中で、全く新しい取組を始めるのではなく、現在の取組をより充実させていくほうがよいのではないかという意見が出していました。

そこで、第2回HOT-MEETINGでは宇治ひろの学園の特徴的な取組である「福島ひまわり里親プロジェクト」について学び直し、さらに意味のある取組にするために、自分たちにできることを考えるワークセッションを行うことになりました。

第1部では、「福島ひまわり里親プロジェクト」が始まった背景や、現在の福島の現状について、このプロジェクトについて平成23年から取り組んでおられる、小川由智氏を講師にお招きし、学習を行いました。第2部では、これを受け、自分たちに今後できることについて、グループに分かれワーキングを行いました。「もっと、福島や災害について自分から調べたくなった。」「もっと全校や地域に広げていきたい。」「もっと、様々な活動をしている人たちと繋がっていきたい。」など活発な意見が出されました。



6年生を対象に、中学校生活不安軽減の取組を行いました！

10月30・31日に広野中学校の2年生が職場体験として大開小学校・大久保小学校を訪問し小学校児童との交流を行いました。その中で、中学校生活不安軽減の取組として、両校の6年生を対象に、中学校生活や学習についての話をしてくれました。6年生児童からは、たくさん質問も出され、実際の先輩としての生の声を聞くことができた、大変貴重な機会となりました。中学生にとっても自分をふり返る良い機会となりました。

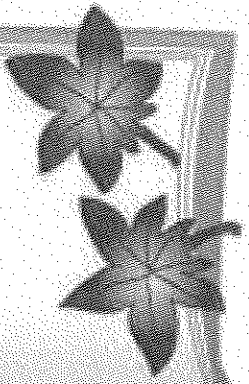
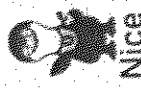
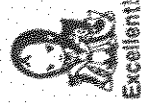
中学校の教員からも、中学校の学習で大切にしていること、小学校生活で身につけておくべきこと等の話をしました。「勉強の悩みを聞いてもらえる機会は、どれくらいありますか。」等、たくさん質問が出され、教員からアドバイスを行いました。



勉強って楽しい！

宇治ひろの学園オリジナルスタンプ

児童生徒の学習活動の良さに「気づき」、「認め」、肯定的な評価をタライミニングよく目に見える形で与え、学習意欲を引き出す「学園オリジナルスタンプ」の取組を始めました。宇治市のキャラクターがデザインされたスタンプが小中学校に配付され、子どもたちも大喜びです。スタンプは、授業中の個別指導や、宿題、自主学習等に活用しています。



小中一貫教育推進協議会

宇治黄檗学園
宇治小学校
坂上 敬宣

1 小中学校が一体化した学校運営

(1) 小中で一つの組織

小中合同で行う打ち合わせ・職員会議・研修会

(2) ライン会議・企画委員会・中後期主任会等の会議 意見交換、指導方針の確認

2 系統的・継続的な指導の充実 ※資料1・2参照

(1) 学習指導

全ての教科を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を大切にする授業を目指し授業づくりを行う

(2) 生徒指導

9年間の継続的な生徒指導

3 小中一貫を生かした特色ある教育活動 ※資料3参照

(1) 中学進学への不安解消

- ①OBAKU ミーティング
- ②中学校部活動体験

(2) 児童生徒の交流

- ①黄檗ウォーカー
- ②体育大会
- ③学園会本部役員選挙
- ④職場体験報告
- ⑤きずな科（宇治学）

4 家庭・地域社会との連携

- (1) 育友会行事への教職員・部活動生徒の積極的な参加
- (2) 地域懇談会への教職員の参加

平成30年度

学力向上プログラム

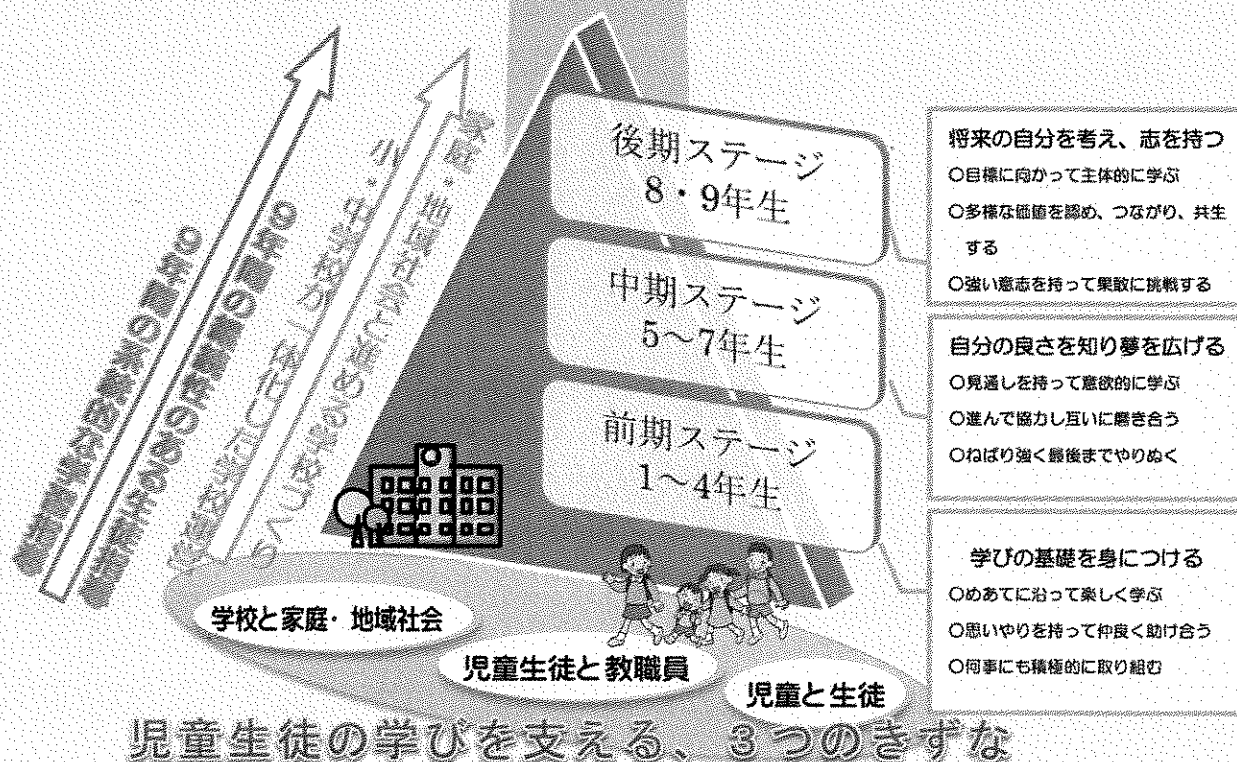
質の高い学力 「9年間を生かした自己実現力の育成」

～主体的・対話的で深い学びによる質の高い学力の育成～

○言語活動（ことばの学び）の充実
○基礎的・基本的な内容の定着

○学習意欲の向上と学習習慣の確立
○学んだことを生かし、課題を解決する力の育成

学力向上5つの視点	内容	検証
学習指導の視点 ① 3つのステージに応じた学習指導 ② シラバスを活用した系統的な指導と評価 ③ 主体的・対話的な学習指導	☐ スムーズな接続による、学習意欲の向上 ☐ 系統的な学習による、中1ギャップの解消	☐ 評価活動（各教科） ☐ 全国学力・学習状況調査
授業形態の視点 ① 小学校高学年における一部教科担当制 ② 小・中学校教員による相互連携授業 ③ 児童生徒の合同授業	☐ 専門性の高い学習活動による学習意欲と学力の向上 ☐ 教師の相互理解による、指導技術の向上 ☐ 共に学び合い、高めていく集団の形成	☐ 京都府学力診断テスト ☐ 学校アンケート評価
「ことばの学び」の充実の視点 ① 全ての教育活動における言語活動の充実 ② 対話的な学びによるコミュニケーション能力の向上	☐ 9年間を生かした自己表現活動の育成 ☐ 思考力・判断力・表現力の向上	☐ CRT学力診断テスト ☐ Q-U（学級集団アセスメント）
特別支援教育の視点 ① 個の特性を理解し、個の教育的ニーズに応じた学習方法の工夫（ユニバーサルデザインの追求）	☐ 特別支援教育の視点による、生徒理解の深化と指導方法の改善	
宇治学やいしすえ学習充実の視点 ① 体験的活動の重視 ② いしすえタイム（読書・既習内容定着の取組、デジタル教材の活用）の充実	☐ 他者と協同して主体的に課題を解決する能力の向上 ☐ 基礎的・基本的な知識・技能の習得	



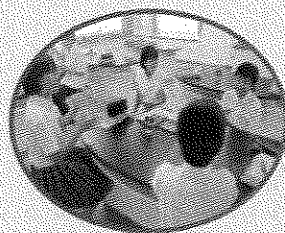
学力向上に向けての授業づくり

研究テーマ

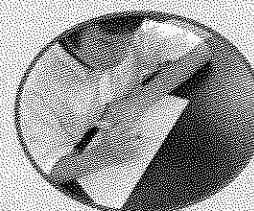
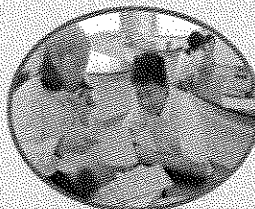
『全ての教育活動において「主体的・対話的で深い学び」を追究する』

授業づくりの視点の共通化

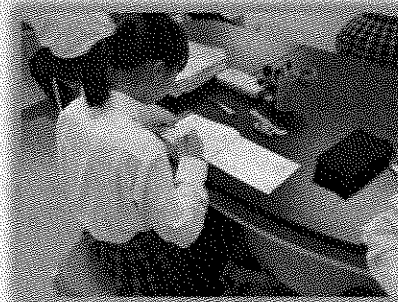
○出会いをしかける！
子どもの意欲を
引き出す場面を設定する。



学習課題をテレビを
使って視覚的に提示
します

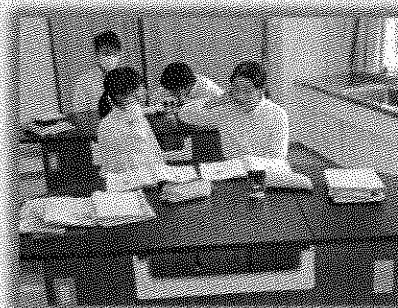
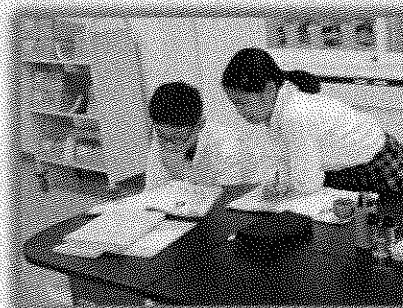


○一人で挑戦させる！
考える時間を十分にとり、状況に合わせて適切な支援をする。



読み物教材を使って
個別に長文の練習問
題に取り組めます。

○仲間と追究させる！
ペアやグループで明確な目的をもった話し合い活動を設定する。



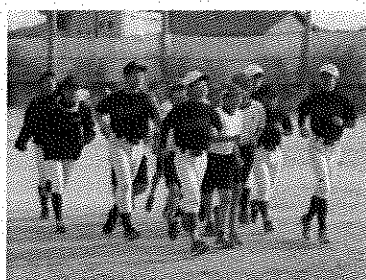
ペアで協力し、ジェス
チャーを入れるなど独
自の会話を考えます。

資料3 中学進学への不安解消にむけた取組

①OBAKU ミーティング6・7年生

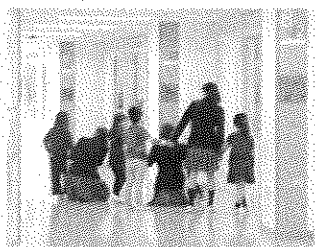


②中学校部活動体験

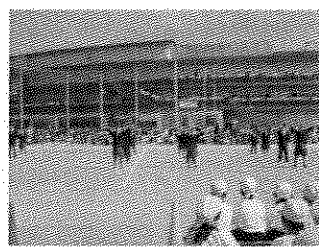
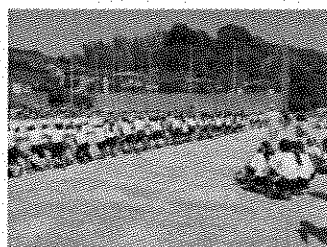


2 小中学生の交流

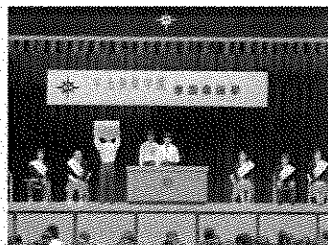
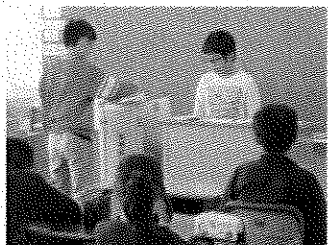
①黄鷲ウォーカー



②体育大会



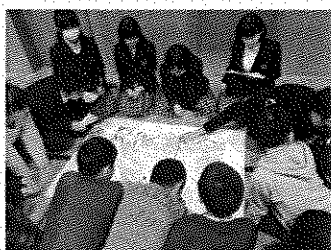
③学園会本部役員選挙



④職場体験報告 8年生から5,6年生へ



⑤5,7年生合同さすな科



横島中学校ブロック 小中一貫教育だより

児童生徒の力を最大限に引き出す教育を！

MAXIMUM

マキシマム

平成30年5月

宇治市立横島中学校・横島小学校・北横島小学校

「宇治市小中一貫教育」実施7年目を迎え、

横島中学校ブロックの3校(横島中・横島小・北横島小)で

小中一貫教育の取組を着実に進めます

横島中学校ブロックでは、小中一貫教育校として、

○義務教育9年間の系統的・継続的な指導で、子どもに確かな学力や生きる力を身に付ける。

○義務教育9年間+αの連携で、家庭・地域と共に子どもを育てる。

をスローガンに掲げ、小中一貫教育目標・めざす子ども像を実現するために、特色ある小中一貫教育を推進します。

横島中学校ブロック 小中一貫教育目標・めざす子ども像

豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成

○心身共に健康で、明るく活動する子

○意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子

○地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

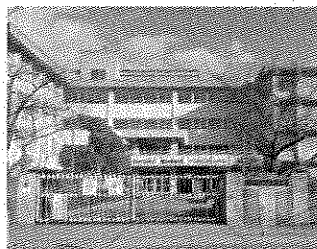
「小中一貫教育」とは・・・

横島中学校・北横島小学校・横島小学校の2小1中が、施設はそれぞれ独立させながら、教育目標・めざす子ども像に向かい、「一つの学校」として機能させ、それぞれの教職員・児童生徒が積極的な交流を行い、教育を推進する「小中一貫教育校」として取り組んでいます。

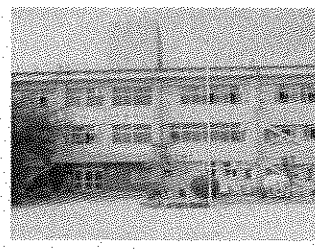
横島小学校については、北宇治中学校区との連携も進めながら、義務教育9年間の宇治市としての小中一貫教育の中で、児童生徒の育ちを実りあるものにしていきます。



北横島小学校



横島中学校



横島小学校

平成30年度 榎島中学校ブロック 小中一貫教育の取組計画

○小中一貫教育について研修を深め、交流する主な取組

- ・ 3校の教職員による合同研修会

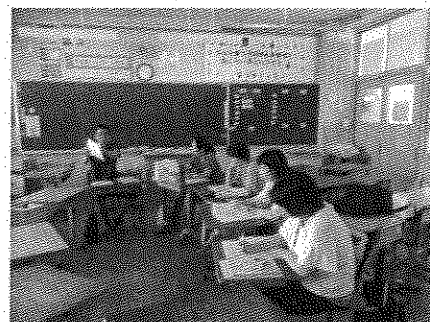


「全員での研修」

「各部会に分かれての研修」

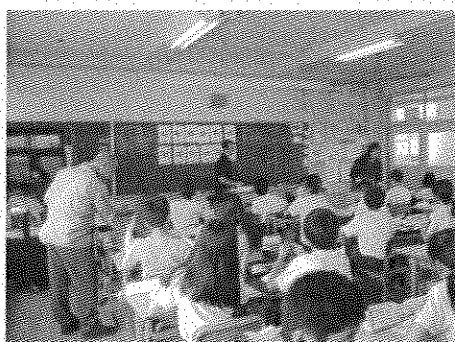


宇治学副読本について



榎島小家庭科の研究について

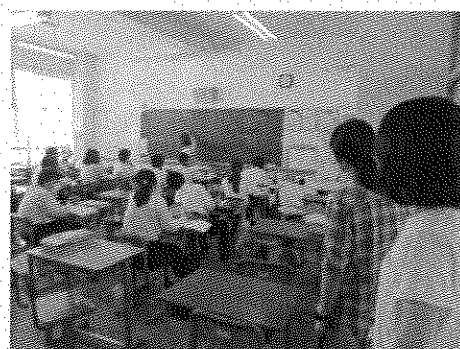
- ・ 小中一貫教育連携教員（榎島中学校教員）による
2小学校での外国語活動の指導支援



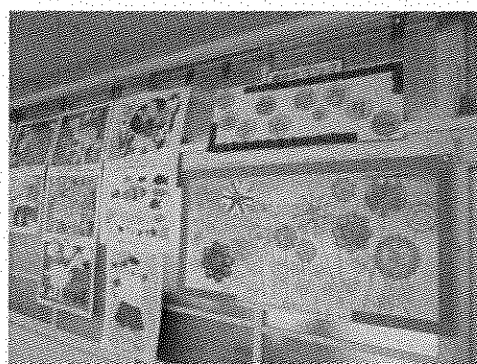
- ・ 中学2年生が小学校で職場体験



- ・ 中学校授業公開
（小学校の教員が参観）



- ・ 3校の絵画展覧会（3校で巡回展示）



小中一貫教育チーフコーディネーター（榎島小学校・芦田）が中心となり、各校のコーディネーター（北榎島小学校・青野、榎島中学校・手嶋）と連絡・調整を図りながら、この他にも様々な取組を進めています。

小中一貫教育の様々な取組の中で、生き生きと活動する児童・生徒の姿をご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。



横島中学校ブロック 小中一貫教育だより

児童生徒の力を最大限に引き出す教育を！

MAXIMUM

マキシマム

平成30年10月

宇治市立横島中学校・横島小学校・北横島小学校

小中一貫教育推進「夢・未来」会議

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」に向けて 宇治市小中一貫教育 夏季小中合同研修会8/20(火) 会場:北横島小学校

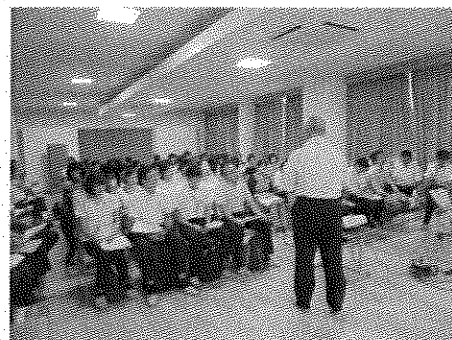
2小1中の教員が一同に会し、「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」に向けた研修・協議を行いました。

【全体研修会：講演「道徳の授業のあり方」】

今までの「道徳」に変わり、「特別の教科 道徳」として小学校では今年度より、中学校では来年度より実施されます。

それを受けて、立命館大学非常勤講師の牧崎幸夫先生を招き、「今、求められている道徳の授業のあり方」について、研修を行いました。

授業において、子どもたちの多様な意見を交流し、考えを深め、心情を育てる授業を創造していくためにはどのようなことが必要か、などを学びました。



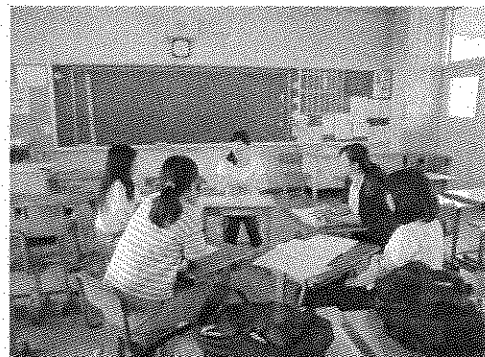
講演で学ぶ教職員

【全体研修会：学力充実部より報告・提案】

小中学校で実施した「京都府学力診断テスト」の内容や結果をもとに、横島中学校区の児童生徒の実態について確認し、学力や生きる力を高めていくためのポイントや取組の方向性について共通理解を図りました。

【教科・領域および、学年ごとの部会】

全体会での講演や報告を受け、教科・領域に分かれて小・中学校をつなぐ指導の在り方について協議を行いました。「授業で、児童生徒に学力や生きる力を身に付ける」ために、「小中9年間を通して同じ視点で学力を育てる」ために、具体的な指導内容などについて話し合いました。



3校の教職員が協議しました

横島中学校ブロック 防災意識向上のために・・・

1 横島中学校1年生 避難所体験学習

9月14日(金)夕方5時半から1年生の避難所体験学習が始まりました。「宇治学」の一環として昨年度から横島中学校で取り組んでいる体験学習です。

昨今日本各地で、大雨や台風、地震による大きな被害が出ています。いつどこで災害に遭うかわからない日本で、自分がいつ避難者になるかわかりません。そのような状況の中で、避難所での過ごし方を体験した中学生たちは、その経験を生かして率先して避難所でも活動ができたり、避難している方をどう支援していくのかを考えたりすることができます。そのように主体的に動くことができる力を実践的に身につけられる体験学習になりました。



避難所設営をしています。養生テープでパーティションの区画や人の通る道を作りました。



MUG(持ち出し袋運用ゲーム)の様子。避難時に何を持ってくるべきかを、ゲームを通して学びました。



毛布を担架として使う方法を考えています。正解を聞いた時には、「お～」と歓声がありました。

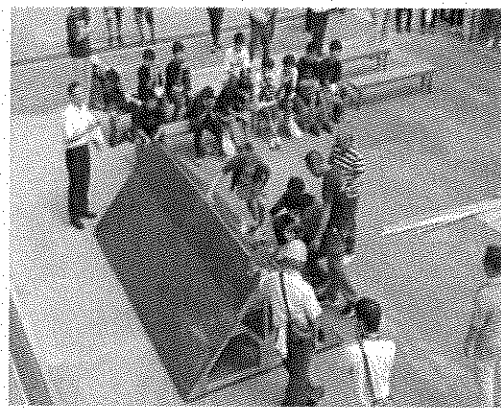
2 北横島校区防災訓練

9月16日(日)、北横島校区防災訓練が行なわれました。北横島小学校校区の町内会の方や地域の方の協力により、約260名もの参加者が集まりました。

訓練では、避難所での生活体験や救助体験やバケツリレーによる消火体験など様々な疑似体験を通して、地域の防災についての意識を高める良い機会となりました。

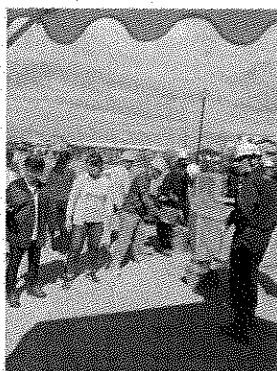
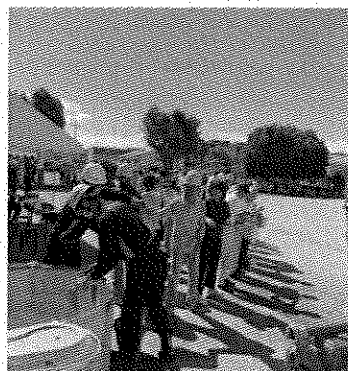


体育館に避難、生活体験



倒壊家屋からの救助訓練

3 横島東地区防災訓練



10月7日(日)、横島公園にて横島東地区の防災訓練が行われました。各町内会で安否確認を行った後、救助訓練・応急処置訓練・消火器訓練、さらには横島消防分団による放水訓練などが行われました。

→ 参加者で協力したバケツリレー

災害の際は、最低限の準備は自分でしておく「自助」と、地域で支える「共助」が必要です。「災害は、忘れず必ずやってくる」という考えのもと、こうした訓練を重ね、横島の地域ぐるみで災害に備えるようにすることは、大切ですね。